

平成 25 年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市の調査結果の概要を、千葉県教育委員会より発表された県全体の調査結果報告リーフレットの項目に倣いまとめました。

※ http://db.ice.or.jp/nc/?page_id=244 「学力向上に役立つ情報→全国学力・学習状況調査」に掲載されていますので、本報告と併せてご覧ください。

柏市の今年度の結果

各テストの平均正答率は、下表のとおりであり、概ね全国平均と同程度の結果でした。

※ 全国平均正答率を100とした場合の、柏市の正答率を表します。

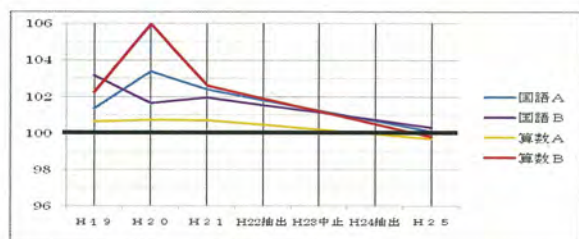
	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
柏市	100.1	100.3	99.7	99.8	99.6	100.0	99.9	99.9

柏市の平均正答率（全国比）の推移（平成19年度～25年度）

※ 全国平均正答率を100とした場合の、柏市の正答率を表します。

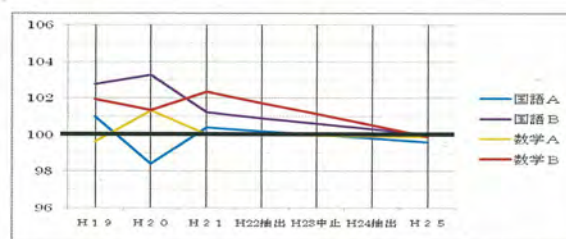
※ 平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は中止のため、それぞれのデータは反映していません。

【小学校】



今年度の結果は、全国平均とほぼ同程度ですが、前回の悉皆調査である平成21年度と比較するとやや下降傾向にあります。

【中学校】

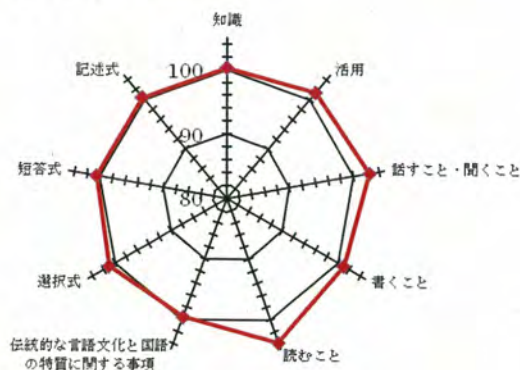


今年度の結果は、全国平均とほぼ同程度ですが、前回の悉皆調査である平成21年度と比較するとやや下降傾向にあります。

教科についての傾向と課題 について

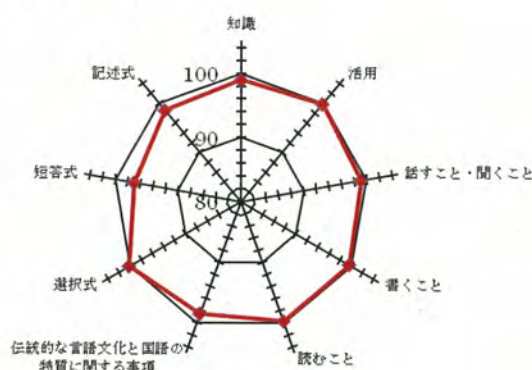
※ 全国平均正答率を100とした場合の、柏市の正答率（赤）を表しています。

【小学校（国語）】



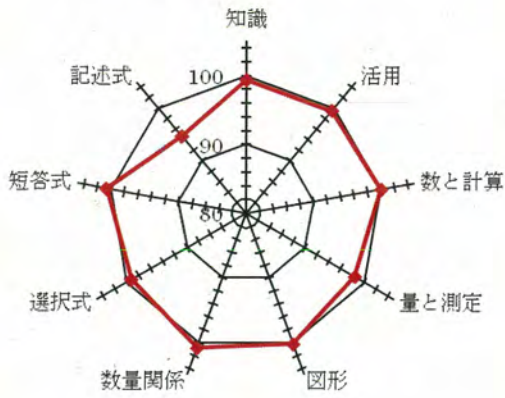
読むことについての問題の正答率がやや高くなっています。

【中学校（国語）】



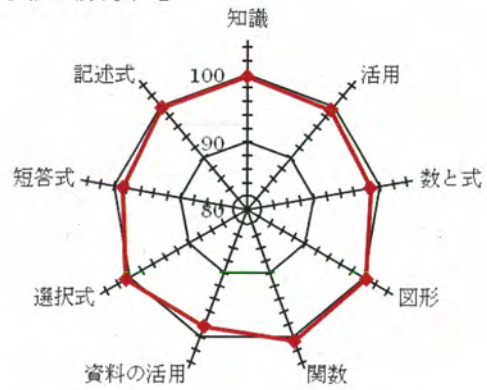
漢字の正答率が低かったため、短答式問題の正答率がやや低く課題があります。

【小学校（算数）】



記述式問題の正答率が低く課題があります。

【中学校（数学）】



全国平均正答率と比較して、ほぼ同程度でした。

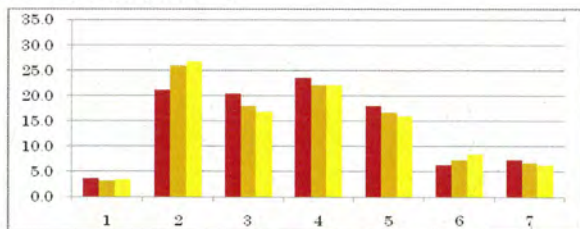
生活習慣や学習環境等 について

土曜日の過ごし方 について

- 1 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 2 習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 3 家で勉強や読書をしている
- 4 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている
- 5 家族と過ごしている
- 6 友達と遊んでいる
- 7 選択肢1～6以外
- 8 学校の部活動に参加している（中学校のみ）

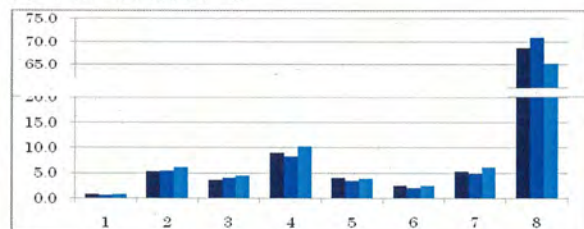
小学校（ ■：柏市 ■：県 ■：全国）

【小学校（午前中）】

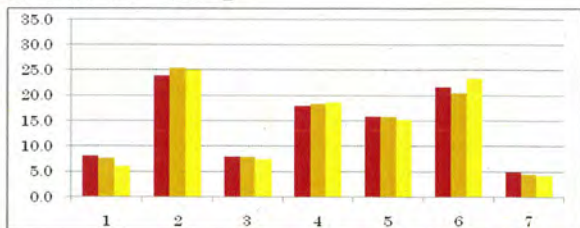


中学校（ ■：柏市 ■：県 ■：全国）

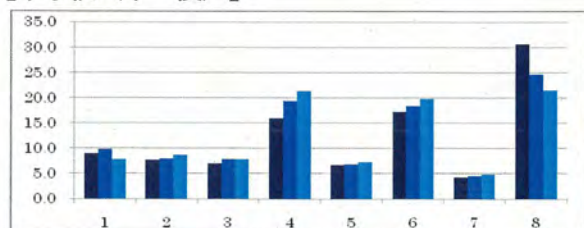
【中学校（午前中）】



【小学校（午後）】



【中学校（午後）】



国・県と比較して、午前中は習い事やスポーツ、地域の活動に参加している児童の割合が低く、家の中で過ごす割合が高くなっています。午後は、国・県と同様の傾向がみられます。

午前中は、国・県と同様の傾向がみられます。午後は、国・県と比較して学校の部活動に参加している生徒の割合が高くなっています。

家庭学習の時間 について (月～金曜日の一日あたり勉強時間：学習塾や家庭教師を含む)

3時間以上 3時間未満2時間以上 2時間未満1時間以上 1時間未満30分以上 30分未満 全くしない

【小学校】



国・県と比較して、「2時間以上」の割合は同等ですが、「1時間未満～全くしない」児童の割合がそれぞれ高くなっています。

【中学校】



国・県と比較して、「3時間以上」の生徒とその逆の「全くしない」生徒の割合がそれぞれ少しずつ高く、やや二極化しています。また、国・県と同様に、小学校と比較すると「全くしない」割合が高くなっています。

家庭学習の内容 について

している どちらかといえばしている あまりしていない していない

【小学校（宿題）】



【中学校（宿題）】



【小学校（予習）】



【中学校（予習）】



【小学校（復習）】



【中学校（復習）】



国・県と比較して、宿題をする児童の割合が低くなっています。

国・県と比較して、宿題をする生徒の割合は県とは同等ですが、国よりは低くなっています。また、家庭学習の内容は、復習よりも予習に取り組む割合が高くなっています。

学校は、児童生徒に家庭学習の課題（宿題など）を与えたか

よく与えた どちらかといえば与えた あまり与えなかった 全く与えなかった

【小学校（国語）】



【中学校（国語）】



【小学校（算数）】



【中学校（数学）】



国と同等で、県を上回っています。

国・県と比較して、「よく与えた」割合が高くなっています。国語は「あまり与えない」割合も高くなっています。

柏市の児童生徒の“人のかかわり”について

今住んでいる地域の行事に参加しているか

当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

【小学校】



国・県と比較して、ほぼ中間の結果となっています。

【中学校】



国・県と比較して、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」生徒の割合が高くなっています。

家の人と、学校での出来事について話をしているか

当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

【小学校】



国・県と比較して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合がやや高くなっています。

【中学校】



国・県と比較して、ほぼ同等の結果となっているが、「当てはまる」生徒とその逆の「当てはまらない」生徒の割合がそれぞれ少しずつ高くなっており、やや二極化しています。

近所の人に出会ったときにあいさつをしているか

当てはまる 及び どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 及び 当てはまらない

【小学校】



国・県と比較して、同等の結果でした。

【中学校】



国・県と比較して、同等の結果でした。

★ 柏市教育委員会の、学力向上への取組について

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象とした調査ですが、柏市教育委員会では、児童生徒の毎年の状況を継続的に把握するため、平成24年度から独自に小学校2年生から中学校3年生までを対象とした柏市学力・学習状況調査（以下柏市調査と表記）を実施しています。

つきましては、柏市教育委員会における学力向上への取組は、柏市調査の結果分析を踏まえて計画・実施していますので、その詳細は「平成25年度柏市学力・学習状況調査報告書『次の手を見いだすために…』」をご覧ください。